当社が提供するクラウドサービスへの不正アクセスに関するお知らせ

このたび、当社が提供するクラウドサービス「CloudTriage」の管理基盤において、第三者による不正アクセスおよび不正アクセスの試行が確認されました。
現時点で、不審なセッション記録が確認された顧客用アカウントは 6 件（対象のお客様は 6 社）です。

これまでの調査では、お客様の監視情報や登録メールアドレス等が不正に閲覧・取得された事実、および設定改ざんは確認されておりません。一方、ログの記録上の制約から、情報の閲覧・取得が行われなかったことを完全に裏付けることができず、情報漏洩の可能性を否定できない状況です。

お客様ならびに関係者の皆様にご心配をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

記

１． 経緯

2026 年 11 月 10 日（火）午前 8 時 55 分頃、当該子会社が複数のパスワードリセット通知を検知したことを契機に調査を開始し、11 月 9 日夜から 10 日未明にかけて第三者による不審なアクセスが行われていたことが判明しました。判明後、速やかに緊急措置を実施し、サービスの開発元と連携して原因および影響範囲の調査を開始しました。

２． 対応状況

本件の判明後、以下の対策を実施しております。

⑴ 不審なアクセス元からの通信遮断および管理者アカウントの無効化
⑵ 対象アカウントの認証情報の変更および多要素認証の必須化
⑶ 管理基盤へのセキュリティパッチ適用および監視エージェントの更新
⑷ 関連ログの調査および不審なアクセスの継続監視

多要素認証の必須化および監視エージェントの更新は完了しており、現在、適用したセキュリティ対策の有効性について確認を進めております。
また、当社グループでは緊急対策本部を設置し、技術調査、影響範囲の確認およびお客様への対応を進めております。

３． お客様への対応と今後の対策

対象となるお客様 6 社には個別にご連絡しており、個人情報保護法に基づく総務省関東総合通信局への報告も実施しております。
また、運用記録上、本件に起因する監視サービスの停止は確認されておりません。
引き続き、サービスの開発元と連携して原因究明、情報漏洩および設定改ざんの有無を含む影響範囲の確認、ならびに再発防止に取り組んでまいります。
新たな影響や重要な事実が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上